

# 令和7年度 地域連携推進会議事録

○日時:令和8年2月19日(木) 13時00分～15時40分

○場所:みさかえの園めぐみの家 談話室5

○会議出席者 地域連携推進員 利用者代表 鶴陽子 氏  
地域連携推進員 利用者家族代表 濱田 忠秀 氏  
地域連携推進員 地域の関係者代表 田中 達也 氏  
地域連携推進員 市町村担当者代表 國分 倫世 氏  
地域連携推進員 福祉・経営に知見のある者 三浦 誉洋 氏  
地域連携推進員 福祉・経営に知見のある者 森 真志 氏  
施設職員 施設長 齋木 初江 他6名 計13名

## ○会議

※会議内容については、別紙次第および資料に沿って各担当より説明。

### 1. 開会

### 2. 挨拶

副施設長進行のもと、施設長の挨拶を行った。

### 3. 出席者紹介

副施設長進行のもと、推進員の紹介及び施設職員の紹介を行った。

### 4. 施設見学(約1時間)

別紙の配置図に従って、居室、デイルーム、配膳室、非常食備蓄場所などを見学した。

### 5. 地域連携推進会議の目的・位置づけの説明

会議出席の趣旨や今年度の会議の役割について説明を行った。

(説明者:副施設長)

### 6. 法人の紹介及び施設概要

社会福祉法人の基本理念、法人組織(施設・事業所一覧)、施設の沿革について説明。事業の内容においては当施設が現在実施している「施設入所支援」「生活介護」について説明を行った。(説明者:施設長)

### 7. 施設運営状況

#### ・財務・経営状況(説明者:事務課長)

今年度の事業活動収支状況表と過去12年間における事業収支の動きのグラフを参照しながら、説明を行った。

#### ・職員の状況(説明者:事務課長)

職員雇用形態別構成比や過去3年間の職員の動き、平均年齢や平均勤続年数についてグラフ等を用いて説明し、そのうち直接処遇職員の割合がどのくらいであるかの説明も行った。また、職員地域別構成比グラフを参照し、職員の半数以上が地域住民の方であること、緊急時に召集できる職員の割合が高いことも合わせて説明した。

## 8. 施設の紹介

- ・利用者の状況(説明:サービス管理責任者)

利用者の年齢別構成比について、重度高齢化の施設であることをグラフを用いて説明した。また、利用者障害状況について、療育手帳や身体障害者手帳所持者の人数や内訳、障害の種類について説明を行った。

令和7年度利用状況表を参照し、10月から定員が変更になったこと、新規入所者や退所者の退所理由についての説明、通院や面会についての説明を行った。

- ・強度行動障害の方への支援(説明:サービス管理責任者)

当施設の強度行動障害者数や居室の利用状況についての現状を説明。

また、今後の課題についての説明を行った。

強度行動障害がある利用者様の写真や個別スケジュール表を参照しながらどのような支援を行っているのか、安心して過ごせる環境を構築しているのかを説明した。

- ・身体拘束適正化及び虐待防止の取り組み(説明:サービス管理責任者)

身体拘束の対象者や状況についての現状、拘束解除に至っていない理由について説明を行った。

また、虐待防止及び身体拘束適正化についての会議と研修状況の説明を行い、強度行動障害支援者養成研修の修了状況についての説明を行った。

(強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)の修了者は生活支援員28名のうち25名である。)

- ・利用者の日常生活(支援状況)(説明:支援課長)

- ①日課(一日の流れ)

平日と土日の日課表を用いて、障害程度や対人関係、居室の内容などを考慮してユニットや活動場所を分けていることの説明を行った。

- ②支援サービスの内容(説明:支援課長)

食事支援については食事の様子や食札の写真、入浴支援については浴室内の写真を用いて説明を行った。洗面・歯磨き支援や排泄支援についても同様に写真を用いて説明を行った。(施設見学時にも説明実施)

- ③日中の活動内容(説明:支援課長)

余暇・足浴・おやつについて説明。また、機能訓練やリハビリテーションを通じて機能維持に努めていることを説明した。障害の程度に応じてグループ活動、リフレッシュ活動、クラブ活動を行っている旨の説明も行った。

- ④年間行事・地域交流(説明:支援課長)

月に1回、四季の行事として季節やイベントに合わせた内容で行事を計画していることを説明した。また、スポーツ大会や吹奏楽団慰問などの地域との交流を行っていることの説明も行った。

## ⑤栄養・給食・非常食(説明:栄養主任)

### ・食事形態について

常食、一口大食、小刻み食、ソフト食を提供していることを説明。また、利用者様の年齢や身体状態などを考慮して食事を提供していることを説明した。

### ・嗜好調査について

今年度実施した嗜好調査をグラフ化し、利用者様が好まれる料理には普段食べ慣れているものや味がしっかりしているものが好まれる傾向にあることを説明した。

### ・行事食・セレクト食について

毎月の行事食や年4回のセレクト食について、写真を用いて説明を行った。年1回の嗜好調査の結果をもとに利用者様に満足していただける食事を提供できるように取り組んでいることを説明した。

### ・非常食について

災害や緊急事態に備えて非常食を3食7日分×50名分常備していることを説明。また、写真を用いて食事提供訓練の様子や献立について説明を行った。

## 9. 災害時の取り組み

### ・防火・防災対策(説明:防火管理者)

避難訓練を年4回行っていることを写真を用いて説明した。

### ・防犯対策(説明:防火管理者)

防犯訓練を年2回行っていることを写真を用いて説明した。また、3月にさすまた取り扱い訓練を行うことを説明した。

### ・業務継続計画(BCP)への取り組み

自然災害編と感染症編の取り組みについて資料を用いて概要を説明した。また、研修・訓練および設備については写真を用いて説明した。

## 10. 意見交換・質疑応答

### ○地域連携推進員より

- ・利用者の高齢化・重度化に伴い職員が支援をする中で、現場から様々な意見や要望が出ると思う。利用者、職員、施設運営、この三位一体をバランスよくやっていくために、職員の意見を可能な範囲で最大限取り入れられてもらいたいと考えている。

### ○施設職員(副施設長)より

- ・今後、障害者支援の中に加えて高齢化に伴う介護も支援の中に入ってくる。現在施設に喀痰吸引ができる職員が2名しかいないため、今後研修を受けてそういった支援ができる人材を確保しなければならないと考えている。

また、求人活動についても法人全体で外国籍雇用も視野に入れる、支援の機械化を進めていくなど、人材確保と負担軽減に努めていきたい。

○地域連携推進員より

- ・幅広い年齢層の方が入所されているイメージだったため、利用者の年齢別構成比を見た時に20～40歳代が少ないことに驚いた。

○施設職員(サービス管理責任者)より

- ・施設利用を希望される方の傾向として、まずショートステイを最初に利用してその後に入所を移行するという流れが多い。当施設は入所施設であるためその流れから外れる。また、場所が僻地であり車がないと来園が難しいという点もあるため、今後も学生からそのまま入所される方は少ないと考えている。

○地域連携推進員より

- ・利用者がサービスを利用するにあたって、協力医療機関と担当者と話し合いを実施しているのか。

○施設職員(サービス管理責任者)より

- ・当施設は障害者支援施設であるため、医療型のサービス提供が難しい状況にある。協力医療機関からも、本格的な医療ケアを有する利用者の生活は当施設では厳しいとの助言をいただいている。そのため、そういった場合には保護者の方も含めて話し合いを行い、情報を共有しながら利用者本人に合ったサービスの提供ができるような体制をとっている。今後も関係機関との連携を深めていきたい。

○地域連携推進員より

- ・利用者や職員の高齢化を今後どのようにカバーしていくか、現場職員からも色々な意見が出ると現状が改善されていくのではないかと思う。

○施設職員(副施設長)より

- ・若年層の人材確保が一番大事だと考えている。また、IT等を活用して業務効率を上げるよう努めていきたい。加えて、相談支援事業所とも連携し、施設のことを理解してもらえよう外部に発信していこうと考えている。

1 1 . その他

・副施設長より

今後も利用者の方、保護者の方、地域の皆様が安心して暮らし続ける体制づくりのために、顔の見える関係づくりを大切にしていきたいと考えている。

- ・次回会議の開催時期は令和8年9月頃とする。

1 2 . 閉会

## 会議の様子



## 施設見学の様子

